京丹波町(教育と子育ての町ブロシエクト」

京都教育大学 _{指導責任者}

幼児教育科 平井恭子

課題

少子化の加速。 子どもたちがいろい ろな世代の人と交流 する機会が不足。

解決

こども園や小学校を拠点に

音楽や遊びを通して、大学生と子ど もたちが交流し、豊かな情操や将来 の夢を育む機会を創出。

事業A みずほこども園 2024年11月8日

「人形劇とわらべうた」による交流



わらべうた 「お寺の和尚さん」

お寺の和尚さんは、子ど もたちが知っている歌詞 と少し違いましたが、す ぐに覚えて交流後も、子 どもたち同士で繰り返し 遊んでいる(保育者)

わらべうた 「おてぶしてぶし

のびのび過ごすことのできる環境と、 子どもの人数に対する豊富な教員配置 が、子どもたちにも先生方にもいい影 響を及ぼし、私たち全員が素敵な園だ と感じ、「ここに就職したい!」とい う声がたくさんあった。(学生)

絵本の読み聞かせ

給食後は、2対1や3対1 で、絵本の読み聞かせ をし、子どもたちとゆった りとした時間があり、子 どもたちがとても喜んで いた。(保育者)

丹波ひかり小学校 2024年12月11日

「人形劇と音楽遊び」による交流



じた。(学生)



人形劇「3びきのやぎのがらがらどん」

トロルは迫力があり、迎えに来 た保護者に「きょうは、トロルが ...」と印象に残った場面を話して いる子どももいた。(保育者)

人形劇では、子どもたちが物語 の世界にぐっと入り込み、お話 の展開に合わせていろいろな表 情が見られた。(保育者)

子どもたちのたくさんの笑 顔が見られてすごく幸せ だった。私も来年から心に 余裕を持って、のびのびし た保育を目指したいと強く 感じた。(学生)

「大好き給食」と題し、自分た ちが掘ったさつま芋や京丹波産 の食材(○○ちゃんのお家で 作った黒豆のプリン)などを使 用している。食育の取組みがと ても素敵だと感じた。(学生)





成果と課題

●みずほ子ども園では、「3びきの山羊のがらがらどん」を、ひかり小学校では「ブレーメ ンの音楽隊」を人形劇で上演した。学生同士で練習する時には得られない、子どもたち の生の反応から、学生は多くのことを学ぶ貴重な機会となった。

●地域で少人数だからこそできる、丁寧で心の通いあう教育の良さを参加した多くの学 生が実感した。

●学生が上演した「3匹のやぎのがらがらどん」「ブレーメンの音楽隊」や、わらべうた遊 びなどは、覚えやすく親しみやすい物語なので、子どもたちが、家庭でも親子で話した り、遊びを再現したりすることができる。地域の未就園児と保護者も参観されていたの で、家庭での親子のコミュニケーション向上に役立ててほしいと考える。

●滞在時間が短く、各学校園の先生から、学生がお話を聞く時間がとれなかったので、 次に機会があれば、子どもだけではなく、先生方から普段の子どもたちの様子や教育 の中で大事にされていることなどを伺う機会をもちたい。

フォークダンス「ジングルベル」

児童の楽しそうな笑顔を 沢山見ることができて、 自分たちの努力が報われ た気がして、とても嬉し かった。(学生)

人形劇

給食 「ブレーメンの音楽隊」

京丹波町にちなんだ食 材がたくさん使われて おり、自分たちが住む 町について知り愛着を もつきっけになると考 えました(学生)



今回の交流で、さまざまなタイプの児童がいることを実際 に目の前で体感できてよかった。どのような方法で子ども の興味を惹き、どのような話しかけ方で子どもの注意を引 き付けるのか、これからもたくさん学びたいと思う(学生)

この数週間、ずっと子どもたちは何をした

ら喜んでくれるだろうと試行錯誤しながら

考えたことは、教師になってもかけがえの

ない喜びややりがいに繋がるだろうなと感

校長先生が子どもたちにす ごく人気で親しみのある存 在だったことがすごく素敵 だと思った。また、是非訪 問に行きたい。(学生)

校長先生がサンタク ロースに扮して登場。 素敵なサプライズに子 どもたちも大喜び。



手作りのクリスマスプレゼント

「X'masリース」(学生から児童へ)

「メダル」(児童から学生へ)





